

佐屋駅周辺整備 かわら版 第3号

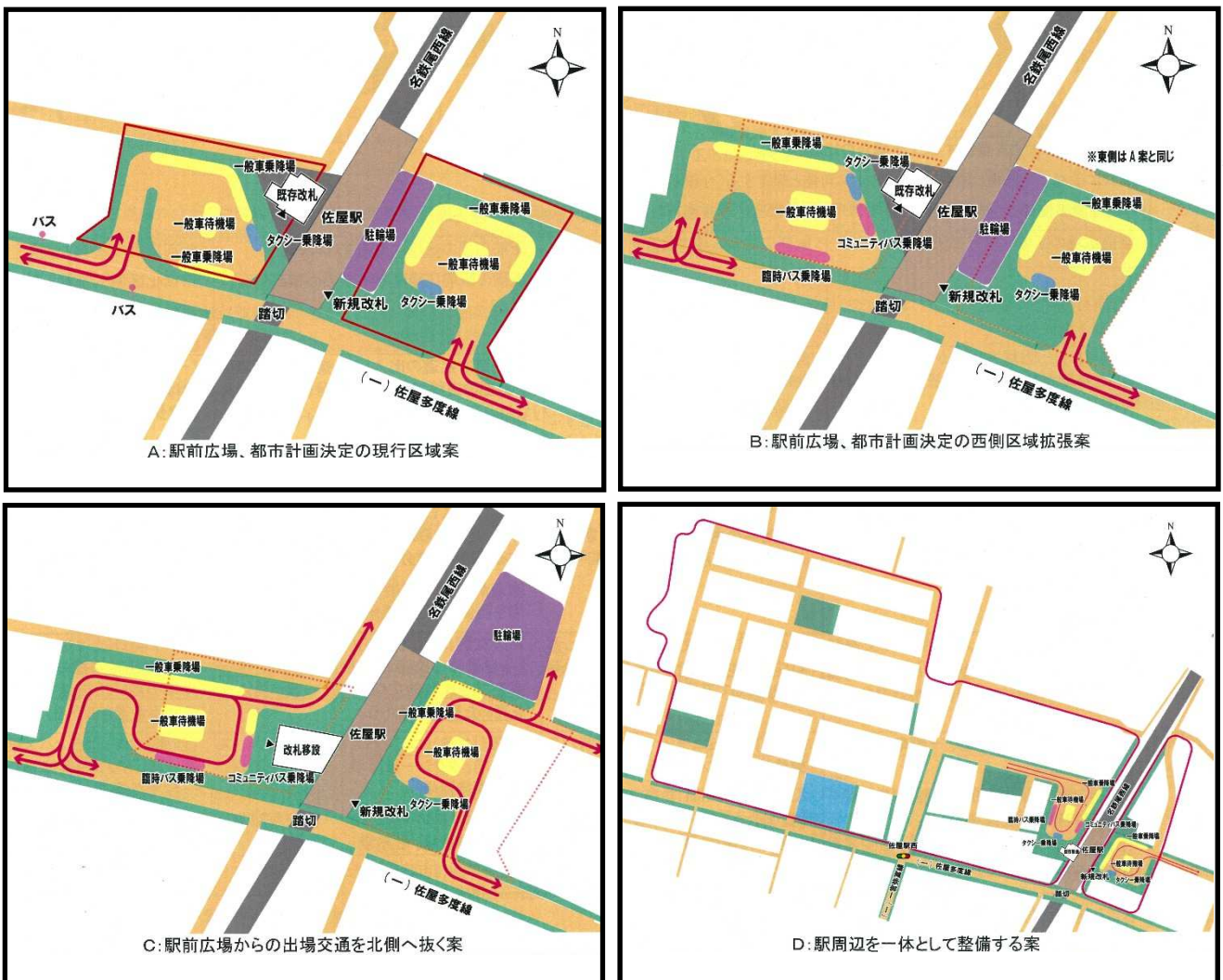
2021年5月

～第3回佐屋駅周辺整備に係る勉強会を開催しました～

佐屋駅前広場を含む周辺整備を進めるにあたり、計画段階から地域住民の方の理解を得ながら進めていくという方針のもと須依町及び東保町の代表の方に参加いただき、令和3年3月16日（火）に第3回勉強会を開催しました。

勉強会では、令和2年度に実施した「佐屋駅周辺整備事業化調査」について概要報告を行い、下記のレイアウト案を参考としつつ、整備の方針について意見交換を行いました。

《 レイアウト案 》



注) 本レイアウト案は、整備検討を行う上でイメージを表した図となります。また、事業計画を精査する過程において、鉄道事業者、公安委員会、道路管理者等、関係機関との調整が必要となります。

■各案の事業内容と特徴

	A案	B案	C案	D案
事業内容	交通結節点機能の向上を図るため必要最小限の整備を図る。	駅前広場を拡張し、西口はバスが回転できる面積を確保することで交通結節機能として充実した整備を図る。	さらに駅前広場を拡張し、自動車の交通結節機能と併に、歩行者空間を比較的広く確保し、一層、拠点性を高めた整備を図る。	面整備により、交通結節機能と併に都市基盤整備水準の高い市街地を形成し、宅地の一層の利用推進を図る。
交通結節機能	△	◎	◎	◎
駅前広場の充実	△	○	○	◎
住環境の保全	○	○	△	◎
コスト	◎	○	○	△
事業期間	◎	○	○	△
合意形成	◎	○	○	△
総括	既決定の駅前広場区域内で事業ができるためコスト・期間については有利であるが、駅前広場としての機能集約性が劣り、事業効果は小さい。	都市計画の変更が必要となるが、特に西側の駅前広場の機能を充実させることができる。	都市計画の変更が必要となるが、特に西側の駅前広場機能を充実させることができると併に、北側の市道と接続するため、アクセス道路となる佐屋多度線の負担を減らすことができる。	求められる交通機能だけでなく、周辺の住環境の向上も図られ、市の玄関口としての役割を十分に担うことができるが、地域住民の合意形成が必要となる他、コストが高く、事業期間も長くなる。

■主な意見交換の内容

＜事業効果を重視する意見＞

- ◇人口減少が進む中ではあるが、将来を見据え、人口維持又は微増するような若い世代が楽しめる魅力あるまちづくりを進めてもらいたい。
- ◇名鉄の高架化はされず、踏切は解消されない前提となるのか？
→鉄道事業者より高架化の話は聞いていない。自治体からの支援があれば鉄道事業者が検討する場合もあるが、市としては財政面から厳しいと考えており、踏切のままとなる想定である。
- ◇名鉄駅舎の改築、東側改札の新設計画はあるのか？
→高架化と同様、自治体から要請した場合、市の負担となる。一方で、鉄道事業者としては駅舎のバリアフリー化が必要となることから、双方が費用負担することも検討していきたい。

＜事業費の抑制、または市の状況に応じた事業実施を重視する意見＞

- ◇今後人口減少が進む中、現在の交通量がピークと考えられ、交通安全の確保を第一とし、コスト、整備期間を考慮した計画としてほしい。
- ◇将来人口推計では人口減少となっていることから、費用対効果を考えると大規模な開発は難しいと考える。
- ◇可能な範囲で交通安全が確保でき、市民が使いやすい駅としてもらいたい、区画整理は難しいと考えている。
→A案からD案に向かう程、事業費が大きくなるが、その分、事業効果も大きくなる。また、課題も多くなり、解決できないと実現できないこともあり、最終的には、政策的な判断が必要になると考える。

＜その他の意見＞

- ◇本勉強会の参加者の立ち位置は？
→地域の方の意見を伺いたいと総代に協力を仰ぎ、佐屋駅周辺の町の代表者として参加いただいている。今後、検討が具体化した段階で「まちづくり協議会」などを立上げ一緒にまちづくりを進めていただきたいと考えている。

次回予告

次回の日程は未定ですが、関係機関協議を実施した後に第4回勉強会を開催する予定です。各会の内容や結果については、本かわら版にて、随時共有を図っていきます。今後共、本事業へのご協力よろしくお願い致します。

お問い合わせ

愛西市 産業建設部 都市計画課

電話：0567-55-7126 (ダイヤル) FAX：0567-26-1011

E-mail：tosikeikaku@city.aisai.lg.jp